

ICCT2023 市民公開講座



～ 地球温暖化，エネルギー問題と化学熱力学 ～

日時：2023年7月30日（日）14:00-16:30（開場 13:00）

会場：千里ライフサイエンスセンター（大阪府豊中市 千里中央駅 徒歩4分）

主催：ICCT2023組織委員会 日本熱測定学会 日本学会会議

共催：大阪大学大学院理学研究科

第26回 IUPAC化学熱力学国際会議(ICCT2023)が大阪で開催されます。この会議には、環境科学やエネルギー科学、材料科学などの基礎になる化学熱力学の専門家が集まり、最先端の研究成果を議論します。この機会に合わせて、化学熱力学が地球温暖化やエネルギー問題とどのように関わっているかを分かりやすく解説する公開講座を開催いたします。

<https://www.chem.sci.osaka-u.ac.jp/lab/micro/ICCT2023/>

講演 1 地球温暖化のメカニズムとカーボンニュートラル達成に向けた二酸化炭素回収・有効利用・貯留(CCUS)の取り組み

地球環境産業技術研究機構(RITE) 主席研究員

余語 克則

講演概要：2050年カーボンニュートラル達成に向けて様々な方面からの地球温暖化防止のための取り組みが進められています。本講演では地球温暖化が生じるメカニズムとともにカーボンニュートラルを可能とする重要な革新的技術として位置付けられているCCUS (Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage) /カーボンリサイクルに関する内外の開発動向、RITEの取り組みについて解説します。



講演 2 再生可能エネルギーの拓く未来社会と熱測定

弘前大学 特別顧問

神本 正行

講演概要：再生可能エネルギーはこの10年で急激に普及しました。しかし、2050年に脱炭素社会を実現するには、技術及び技術以外の様々な課題を解決し、さらなる大量導入を図ることが必要不可欠です。本講演では再生可能エネルギーの現状を紹介し、再生可能エネルギーの拓く持続可能な未来の社会とエネルギーシステムを展望します。また、エネルギー貯蔵技術の現状と将来、ならびに熱測定が技術開発において重要なツールとして利用されている事例について紹介します。



参加申込み 参加希望の方は下記のURL（右のQRコード）より参加登録をお願いします。

<https://forms.gle/a1Ab4zfnWrfhupR86>

電子登録が難しい場合には、問合せ窓口にご連絡ください。

定員：先着300名（定員を超えた場合はオンラインでのご参加をお願いすることがあります）
オンライン参加ご希望の方は、その旨ご連絡ください

参加費：無料

締切日：7月11日（火）

問合せ先：ICCT2023事務局 市民公開講座担当窓口
大阪大学理学研究科 熱・エントロピー科学研究センター内
E-mail: icct2023_office@chem.sci.osaka-u.ac.jp Tel: 06-6850-5396



大阪大学理学部・理学研究科
OSAKA UNIVERSITY
School of Science, Graduate School of Science



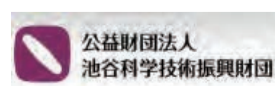
国土交通省
観光庁



EXPO'70 FUND
KANSAI OSAKA 21st Century Association



OSAKA 大阪観光局
OSAKA CONVENTION & TOURISM BUREAU



公益財団法人
池谷科学技術振興財団



公益財団法人
鹿島学術振興財団
THE KAJIMA FOUNDATION